

情報連絡員総括表（2021年12月）

— 静岡県中小企業団体中央会 —

本書は、静岡県中小企業団体中央会が委嘱した情報連絡員〔協同組合等の役職員 60 名〕による毎月の景況調査の集計結果です。

1. 概況報告
2. 項目別の前月・今月のDI値の比較
3. 情報連絡員からの報告
4. 中央会・行政への要望
5. 主要三指標におけるDI値の推移（グラフ）

・本調査の見方・

◎売上高等の9項目につき **前年同月と比較し**、好転・不変・悪化 のいずれかを回答

$$DI値 = [(好転組合数 - 悪化組合数) / 調査対象組合数] \times 100$$

※全項目が前年同月比「不変」となった場合は、DI値は基準値 ±0.0 (=横ばい) で推移

※「在庫数量」のみ、プラス値が高いほどマイナス要因と定義

1. 概況報告 （回答者数 60 名：回収率 100.0%）

○2021年12月のDI値は、前月との比較において9指標すべてが改善する結果となった。

コロナウイルス感染症の感染者数の低下によって、消費が増加傾向になったことが要因と考えられる。しかし新株流行の兆しや、資材や燃料の価格は高止まりが続いており、楽観視できない状況が続いている。

○「製造業」では、前月との比較において、「売上高」「在庫数量」「収益状況」「資金繰り」「業界の景況」の5指標が悪化、それ以外の4指標は改善の結果となった。

印刷業からは、「印刷の需要が低迷。前年に引き続いて売り上げは低調。資材値上げ、部品交換費用、産業廃棄物回収費用等の値上げが発生している。利益が非常に厳しい状況の中、用紙値上げの話もでている。受注数減少傾向で、取引を維持するには価格への転嫁は困難である。どう対応するか判断に苦慮している」とのコメントが寄せられた。

○「非製造業」では、前月との比較において、「取引条件」が悪化、その他の8指標は改善する結果となった。各種商品小売業からは、「12月は県外からの人の流れも多くなってきたように思われる。また、Xmasセールも好調であったため、ほぼコロナ前の売り上げを上げることができた」との声が寄せられた。

(DI値)

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
2021年12月	11.7	-11.4	16.7	-10.0	-10.0	-15.0	3.3	-8.3	-18.4
2021年11月	5.0	-4.6	8.4	-11.6	-31.7	-25.0	0.0	-13.4	-23.4
増減	6.7 ↑	-6.8 ↑	8.3 ↑	1.6 ↑	21.7 ↑	10.0 ↑	3.3 ↑	5.1 ↑	5.0 ↑

2. 項目別の前月・今月のDI値の比較

		製造業				非製造業				全体			
		DI値		増減		DI値		増減		DI値		増減	
売上高	2021年12月	3.3	-6.7ポイント	↓	20.0	20.0ポイント	↑	11.7	6.7ポイント	↑	10.0	-	
	2021年11月	10.0			0.0			5.0					
在庫数量	2021年12月	-3.3	0.1ポイント	↓	-28.6	-21.5ポイント	↑	-11.4	-6.8ポイント	↑	-3.4	-	
	2021年11月	-3.4			-7.1			-4.6					
販売価格	2021年12月	10.0	3.3ポイント	↑	23.3	13.3ポイント	↑	16.7	8.3ポイント	↑	6.7	-	
	2021年11月	6.7			10.0			8.4					
取引条件	2021年12月	-3.3	10.1ポイント	↑	-16.7	-6.7ポイント	↓	-10.0	1.6ポイント	↑	-13.4	-	
	2021年11月	-13.4			-10.0			-11.6					
収益状況	2021年12月	-20.0	-3.4ポイント	↓	0.0	46.7ポイント	↑	-10.0	21.7ポイント	↑	-16.6	-	
	2021年11月	-16.6			-46.7			-31.7					
資金繰り	2021年12月	-26.6	-6.6ポイント	↓	-3.4	26.6ポイント	↑	-15.0	10.0ポイント	↑	-20.0	-	
	2021年11月	-20.0			-30.0			-25.0					
設備操業度	2021年12月	3.3	3.3ポイント	↑	/				3.3	3.3ポイント	↑	0.0	-
	2021年11月	0.0							0.0				
雇用人員	2021年12月	-13.3	6.7ポイント	↑	-3.3	3.4ポイント	↑	-8.3	5.1ポイント	↑	-20.0	-	
	2021年11月	-20.0			-6.7			-13.4					
業界の景況	2021年12月	-20.0	-3.4ポイント	↓	-16.6	13.4ポイント	↑	-18.4	5.0ポイント	↑	-16.6	-	
	2021年11月	-16.6			-30.0			-23.4					

今月の業種別回答件数

1) 業界の経営動向

静岡県中小企業団体中央会

		売上高		在庫数量		販売価格		取引条件		収益状況		資金繰り		設備操業度		雇用人員		業界の景況			
		増加	減少	増加	減少	上昇	悪化	好転	悪化	好転	悪化	好転	悪化	上昇	悪化	増加	減少	好転	悪化		
製造業	食料品	1	1	1	1	1	0	0	1	0	2	0	2	1	1	1	0	0	2		
	繊維工業	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	0	2	0	2	0	1	0	2		
	木材・木製品	3	1	0	3	3	0	2	0	2	1	2	1	2	0	1	0	2	1		
	紙・紙加工品	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1		
	印刷	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1		
	窯業・土石製品	1	2	1	0	0	0	0	0	1	2	0	1	1	1	0	2	0	1		
	鉄鋼・金属工業	2	1	0	1	0	0	0	1	1	2	0	1	2	1	0	1	1	2		
	一般機器	3	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	1	0		
	電気機器	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0		
	輸送用機器	2	2	3	0	0	1	0	1	2	2	0	2	2	1	1	2	2	2		
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
非製造業	卸売業	3	1	1	0	1	0	1	0	3	1	2	0	/				1	0	1	3
	小売業	1	3	0	2	3	1	0	3	0	2	0	2					0	1	0	2
	商店街	3	1	0	3	2	1	0	1	1	1	1	1					0	1	1	2
	サピス業	1	0	/		0	0	0	0	1	0	0	0					1	0	1	1
	建設業	1	1			2	0	0	2	0	2	0	1					0	1	0	1
	運輸業	3	0	1	0	0	0	0	2	1	1	1	1					1	1	1	2

3.情報連絡員からの報告

製造業

水産食料品	<ul style="list-style-type: none"> ・11月後半からコロナ禍も落ち着き、人出の増加によって、消費も増加傾向にあるが、水産関係では外食の需要が低調の為、売上が伸びて行かない。 ・新型コロナの影響から未だ脱却できず、更に新株蔓延による先々の影響を鑑みれば決して楽観視できない状況にある。業界にとっては、やっと我慢比べの終わりが見えてきたところに、再び暗雲が立ち込めている様な雰囲気である。
パン	<ul style="list-style-type: none"> ・12月はクリスマスケーキの需要があったものの、原材料のいちご、生クリーム、小麦粉等が相当な値上がりをしており、販売価格に転嫁できないため採算が合わなかった。またケーキを作る職人も減っていることから販売数を限定している小売店があった。さらにクリスマス時の消費者の嗜好もホールケーキがメインではなく以前よりは変化してきている。
織物業	<ul style="list-style-type: none"> ・原材料価格の高騰のため、生産コストが上昇している。 ・業況に変化はなく低空飛行状態、コロナの影響の改善も見られず、受注も多品種小ロットが多く、金額面の期待が出来ない。
宗教用具	<ul style="list-style-type: none"> ・売上は相変わらず改善がされず、原材料のみが高騰し製品価格に転嫁できない状況である。
製材業、木製品	<ul style="list-style-type: none"> ・製材業は高操業を依然継続中。
印刷・同関連業	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ過により、印刷需要が低迷。前年に引き続き売り上げは低調。資材値上げ、部品交換費用、産業廃棄物回収費用等値上げが発生しているが、受注減少傾向で、取引を維持するには、価格転嫁は困難である。それに加えて、用紙値上げの話も出てきており、どう対応すればいいのか、判断に苦慮している。
骨材・石工品等	<ul style="list-style-type: none"> ・先月と状況は同じ、砂利採取が始まり在庫は増加した。
金属製品	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界の操業状況が安定しない。 ・物不足により製品納期が遅れる傾向にある。
生産用機械器具	<ul style="list-style-type: none"> ・総体的にコロナ禍前の水準にまで業績回復したが、オミクロン株拡大により海外受注停滞が懸念される。 ・一部部材の調達難で製品完成に至らず、春先頃まで在庫として抱えざるを得ない状況にある。
電気機械器具	<ul style="list-style-type: none"> ・東南アジアのロックダウンによる部品調達問題による生産への影響が続いており、生産計画変更が多発している。 ・大型冷蔵庫は部品調達問題の解消が進んだ為、生産が回復しており、好調だった前年度レベルとなった。 ・エアコンは業務用エアコンの室外機の生産が10日間停止するなど部品調達問題により生産計画が下方修正された。
輸送用機械器具	<ul style="list-style-type: none"> ・部品確保のために在庫の増加が見られる。また、その為に借り入れも増加傾向にあり資金繰りが圧迫されている。 ・引き続き半導体不足の影響で、生産量の減少と生産計画の頻繁な変更が続いており、原材料価格の上昇も重なり経営環境は厳しい状況が続いている。又、変動人員の確保も難しくなっている。 ・国内自動車関連の部品オーダーは多くなっているが、半導体不足は依然として問題として残っている。コロナ禍で需要と供給のバランスが崩れ現状立て直しに躍起になっている。 ・厳しい年末となり年明けに回復は期待できそうにない。12月は新型コロナ感染状況も治まった影響から自動車生産台数に於いても挽回計画が入り生産増となった。ただ年末にかけ変異株の出現で生産への影響が出ている。

非製造業

セメント卸売業	・道路改良関連工事の発注が見られ、3ヶ月振りに前年実績を上回ったが、依然として需要は低迷している。
機械器具小売業	・半導体不足で、商品供給不安定。
鮮魚小売業	・水産物小売業では、年末商戦主力商品の調達不足や価格の大幅上昇、外食機会の増加で内食需要の減少により、前年を割り込む結果となった。一方、業者卸売業は8～9月の緊急事態宣言期間中の大きく落ち込んだ反動で10～12月は前年を上回ったもののコロナ前の水準には届かなかった。年明けより感染再拡大で消費低迷が予想される。
各種商品小売業	・コロナの感染者が減少し、来街者が増加してきた。クリスマスイベントも親子づれのお客様で賑わいが少し戻ってきた。このまま、コロナが収束することを願っている。 ・12月は県外からの人の流れも多くなってきてように思われ、またXmasセールも好調であったため、ほぼコロナ前の売上を上げることができた。
宿泊業	・宿泊施設によって格差はあるものの、全体的には前年並みで推移。静岡県が実施している「バイシズオカ元気旅キャンペーン」の効果が見られた。
情報サービス業	・半導体不足の影響で、半導体新規開発が延期されてきた。都内では、新年度に向けての開発で、人材不足が予想されるため、県内に人材を求めての営業活動が活発化してきた。
総合工事業	・民間工事は、完成引渡しが多年末と年度末に集中しているので忙しい状況。住宅設備機器の納期遅れは解消されず、回復は春先以降と予想される。官庁工事も忙しい状況だが、採算は見込めない。
職別工事業	・全体的に、資材の高騰による労務の値下げ圧力はあるものの、今のところ目立った安値は見られない。スクラップ価格が低下傾向にある。資材価格は高止まりをしており、注視していきたい。
道路貨物運送業	・荷物の情報量は、昨年より増加したものの、静岡着の車両数が昨年より下回っている。また、燃料価格は高止まりで推移しており、アドブルー（尿素水）の供給不安と価格の高騰で、長距離輸送を避ける傾向が強まっている。組合員の自社便はなるべく近場の仕事に振り替えている。 ・半導体関連により取引企業の稼働に売り上げが左右されている。軽油価格・アドブルー価格上昇などの影響あり。また、半導体、コロナ関連でほかの部品が海外から入ってこず、トラックを注文しても納車未定の状況により新規の引き受ができない。これからのトラックは、安全装置の追加義務でさらに価格が上がる。配送料・運賃に転嫁できなければ、廃業、淘汰が進む。
道路旅客運送業	・8月から10月まで前年を下回っていた輸送実績について、直近の実績では輸送人員が5ポイント、運送収入が6ポイントそれぞれ上昇し、4カ月ぶりに前年度を上回った。ただし、コロナ前との比較では、輸送人員がマイナス34%、運送収入がマイナス33%と、まだまだ厳しい経営が続いている。大きく膨らんだ借り入れの返済や雇用を考慮した場合、旅客需要をさらに20ポイント程度上げる必要があるとの声も聞かれ、オミクロン株や燃料の高騰などの懸念材料が重くのしかかっている。

4. 中央会・行政への要望

パン製造業

- ・組合の事務長クラスが情報交換ができる会合やシステムがあれば助かります。

商店街

- ・感染症対策と同じく経済対策をお願いしたい。

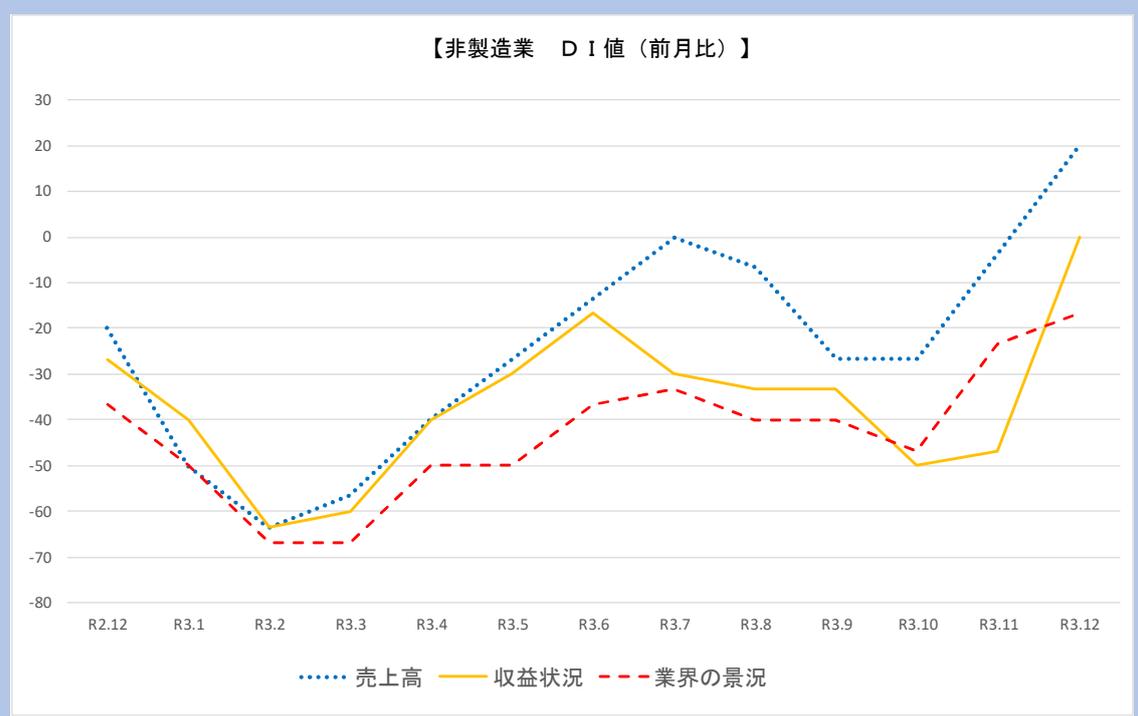
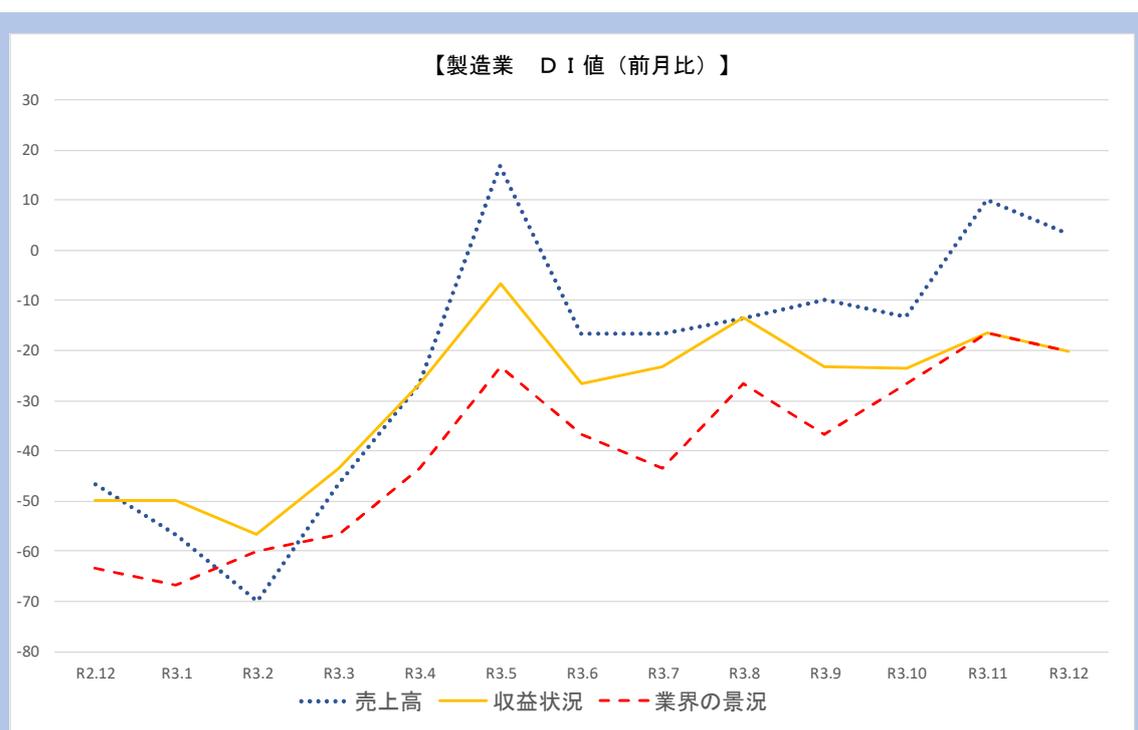
5. 主要三指標における DI 値の推移

■2020年12月期～2021年12月期までの推移

全体	R2.12	R3.1	R3.2	R3.3	R3.4	R3.5	R3.6	R3.7	R3.8	R3.9	R3.10	R3.11	R3.12
売上高	-53.3	-66.7	-51.6	-33.3	-5.00	-13.3	-8.4	-10	-18.4	-20	-8.6	5.0	11.7
収益状況	-45.0	-60.0	-51.6	-33.3	-18.3	-20.0	-26.6	-23.4	-28.3	-36.7	-29.4	-31.7	-10.0
業界の景況	-58.3	-63.4	-61.6	-46.7	-36.6	-35.0	-38.3	-33.3	-38.3	-36.6	-34.5	-23.4	-18.4

製造業	R2.12	R3.1	R3.2	R3.3	R3.4	R3.5	R3.6	R3.7	R3.8	R3.9	R3.10	R3.11	R3.12
売上高	-46.7	-56.7	-70	-46.6	-26.6	16.7	-16.6	-16.7	-13.4	-10	-13.3	10.0	3.3
収益状況	-50	-50	-56.6	-43.3	-26.7	-6.7	-26.7	-23.3	-13.3	-23.3	-23.4	-16.6	-20.0
業界の景況	-63.3	-66.6	-60	-56.7	-43.3	-23.3	-36.6	-43.4	-26.7	-36.6	-26.7	-16.6	-20.0

非製造業	R2.12	R3.1	R3.2	R3.3	R3.4	R3.5	R3.6	R3.7	R3.8	R3.9	R3.10	R3.11	R3.12
売上高	-20	-50	-63.4	-56.6	-40	-26.7	-13.3	0	-6.7	-26.7	-26.7	-3.4	20.0
収益状況	-26.7	-40	-63.4	-60	-40	-30	-16.7	-30	-33.3	-33.3	-50	-46.7	0.0
業界の景況	-36.6	-50	-66.7	-66.7	-50	-50	-36.6	-33.3	-40	-40	-46.7	-23.4	-16.6



■2020年12月期～2021年12月期までの推移

売上高	R2.12	R3.1	R3.2	R3.3	R3.4	R3.5	R3.6	R3.7	R3.8	R3.9	R3.10	R3.11	R3.12
製造業	-53.4	-46.7	-56.7	-70	-46.6	-26.6	16.7	-16.6	-16.7	-13.4	-10	-13.3	10.4
非製造業	-23.3	-20	-50	-63.4	-56.6	-40	-26.7	-13.3	0	-6.7	-26.7	-26.7	0.0

収益状況	R2.12	R3.1	R3.2	R3.3	R3.4	R3.5	R3.6	R3.7	R3.8	R3.9	R3.10	R3.11	R3.12
製造業	-53.4	-50	-50	-56.6	-43.3	-26.7	-6.7	-26.7	-23.3	-13.3	-23.3	-23.4	-16.6
非製造業	-13.3	-26.7	-40	-63.4	-60	-40	-30	-16.7	-30	-33.3	-33.3	-50	-46.7

業界の景況	R2.12	R3.1	R3.2	R3.3	R3.4	R3.5	R3.6	R3.7	R3.8	R3.9	R3.10	R3.11	R3.12
製造業	-56.7	-63.3	-66.6	-60	-56.7	-43.3	-23.3	-36.6	-43.4	-26.7	-36.6	-26.7	-16.6
非製造業	-33.4	-36.6	-50	-66.7	-66.7	-50	-50	-36.6	-33.3	-40	-40	-46.7	-30.0

